

体育科学習指導案

授業者 安永 剛
指導場所 運動場

1 領域 ゲーム（ゴール型ゲーム）

2 題材 みんなでトライ！みんなでタグ！

3 目標

- 運動に進んで取り組み、ルールを守り仲よく運動したり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。（関心・意欲・態度）
- タグラグビーの簡単な作戦を立てることができるようにする。（思考・判断）
- コート内で攻守入り混じって、基本的なボール操作やボールを持たないときの動きによって、陣地を取り合って得点ゾーンに走り込むゲームをすることができるようにする。（技能）

4 指導について

○ 学習指導要領における第3学年・4学年の目標は「活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きや技能を身につけ、体力を養う。」である。ゴール型ゲームに位置づけられるタグラグビーは全員で攻撃、全員で守備をするのが基本である。攻撃側はボールを持ってゴールラインを越えるとトライで得点となる。守備はラグビーのタックルの代わりに、相手の腰に付けたタグを取ることで動きを止めることができる。身体への接触がないことや、ボールを持って自由に動けたりタグを取る動きがしっぽとりの遊びに似ていたりすることから、運動が苦手な児童でも取り組みやすい運動といえる。

○ 本学級は男子20名女子17名という人数構成の学級である。男女ともに休み時間には運動場で鬼ごっこやサッカーやドッジボールをする児童が多い。一方ではいつも教室の中で休み時間を過ごす児童もいる。しかし学級で決めた全員遊びの時間にはみんな外へ出て遊びを楽しむ姿が見られる。

本学級の児童に運動についてのアンケートをとったところ、以下のような結果になった。

①体を動かすことは好きですか？

好き…28人 どちらかといえば好き…9人 どちらかといえば嫌い…0人 嫌い…0人

②ボール運動は好きですか？

好き…27人 どちらかといえば好き…7人 どちらかといえば嫌い…2人 嫌い…1人

③タグを使ったしっぽとりの鬼ごっこは好きですか？

好き…26人 どちらかといえば好き…8人 どちらかといえば嫌い…3人 嫌い…0人

④ラグビーを見たことはありますか？

ある…25人 ない…12人

⑤楕円形の球を投げたり捕ったりしたことはありますか？

ある…11人 ない…26人

アンケートの結果から、体を動かすことが嫌いな児童がいないことが分かる。またボール運動やしっぽとり、鬼ごっこにおいても好きと答えた児童が大半をしめ、運動への意識は非常に高いといえる。しかし、少人数だが苦手意識を持っている児童もいる。ボール運動が嫌いだと答えた児童の理由として「投げられないし、受けられないから楽しくない。」「当たると痛いから。（ドッジボール）」「苦手だから。」が挙げられた。休み時間の遊びを見ていると鬼ごっこをしていても走らずにじっとしている児童や、ドッジボールで一回もボールに触ることのできない児童もいる。また、ラグビーを見たことはあるが、実際に楕円形のボールをさわった経験のない児童が多いのがわかる。

○ 本単元では、タグラグビーの持っている特性を生かし、運動に苦手意識を持っている児童も楽しんでゲームに参加できることを目指していきたい。

タグラグビーではボールを前へ投げてはいけないというルールがあるため、ボール保持者の後ろへパスをもらいにいく動作の習得が必要である。そのために、3人組でボール保持者の動きにぴったりとついていく金魚ランニングを行う。また楕円形のボールを扱う技能が高まるようにドリルゲームとして円陣パスとボール取り競争に取り組む。円陣パスはグループで円になり30回パスをまわすのに何秒かかるかを競うゲームで、相手の取りやすい場所へ両手でボールを投げられることを目指す。ボール取りゲームでは周りの状況を見ながらボールを運んだり、友だちへアドバイスを出す経験を重ねていく。タグを取る動きについては、1対1のタグとりや、1対1トライ対決で身につけさせたい。

ゲームでは、初めはパスを重視せずに、自分で走ってトライをするランニング中心のゲームを目指す。そのために、ボールを持ったタグを取られるまで前へ走ることをめあてとした。その後、パスを活用するゲームを展開していく。ゲーム前とハーフタイムで簡単な作戦を考え、パスを活用した動き方ができるよう話し合いの時間を設ける。その時に作戦カードを活用し、カードを選択することで作戦を決めることができるようにする。

チームでボールをつなぎ『みんなの力でトライする』、協力して『みんなの力でタグを取る』ことで、友だちと力を合わせ楽しみながら運動できる児童を育てていきたい。

5 評価規準

観点	評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	①ゲームに進んで取り組もうとしている。	学習カード・観察 学習カード・観察
	②ルールを守り、友だちと協力して練習やゲームをしようしたり、勝敗の結果を受け入れようとしていたりしている。	
	③友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。	観察
	④ゲームを行う場や用具の使い方など安全を確かめようとしている。	観察

思考・判断	①タグラグビーの行い方を知るとともに、易しいゲームを行うためのゲームのルールを選んでいる。 ②タグラグビーの特徴に合った攻め方を知るとともに、簡単な作戦を立てている。	観察 作戦ボード・観察
技能	①ボールを持ったときに前に進むことができる。 ②味方に正確にパスをすることができる。 ③ボール保持者の後方に移動し、サポートすることができる。 ④タグを取り、相手の前進を妨げることができる。	観察 観察 観察 観察

6 活動計画（全8時間）

時	1	2	3	4	5	6 (本時)	7	8
ね ら い	オリエン テーショ ン タグラグ ビーのこ とを知ろ う。	ボールを 持ったら タグを取 られるま で前に進 もう。	パスをし たらボー ルを持っ ている人 の後ろへ 回ろう。	ルールを 考えよう。	工夫した 動き方を 考えよう。	工夫した 動き方を 取り入れ て、作戦を 立てよう。	チームで 攻め方、守 り方を考 えよう。	タグラグ ビー大会 をしよう。
導入	アンケー ト ラグビー の映像を 見る。	器具の準備 準備運動 (金魚ランニング、準備体操)			器具の準備 準備運動 (三角ランニングパス、準備体操)			各チーム ウォーミ ングアッ プと作戦 会議
展開	タグラグ ビーに関 する説明 (ルール など) チーム編 成	円陣パス 1対1タ グとり ゲーム① 話し合い 活動	円陣パス 1対1タ グとり ボール集 め競争 ゲーム② 話し合い 活動	円陣パス 1対1タ グとり ボール集 め競争 ゲーム③ 話し合い 活動	円陣パス 1対1ト ライ対決 ゲーム④ 話し合い 活動	円陣パス 1対1ト ライ対決 ゲーム⑤ 話し合い 活動	円陣パス 3対3ト ライチャ ンス ゲーム⑥ 話し合い 活動	トーナメ ント戦
まとめ	学習のまとめ	片付け・整理運動・学習のまとめ						
評価の 重点	関①思①	関④技①	関③技③	思①技②	関②思①	関②思②	思②技④	関①関②

7 本時案

(1) ねらい

- ・進んで運動に取り組み、友だちと協力して運動しようとしている。【関心・意欲・態度】
- ・工夫した動きを取り入れた作戦を立てる。【思考・判断】

(2) 展開

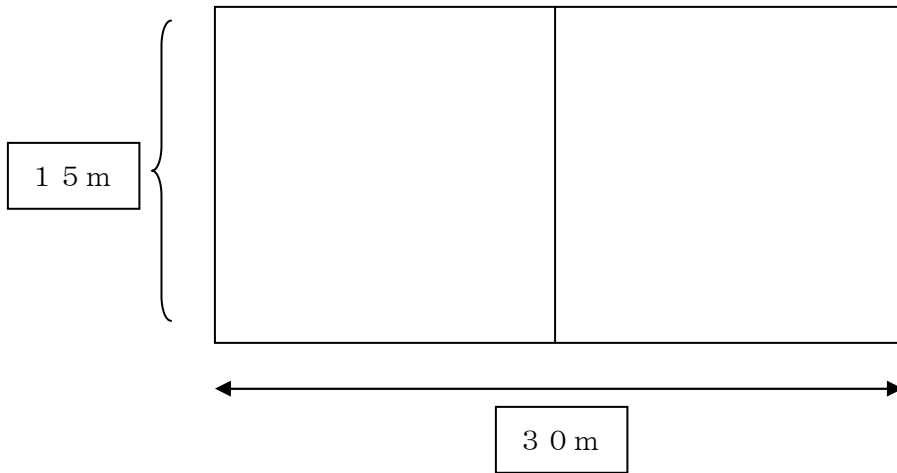
学 習 活 動	指導者の支援と留意点	備 考
1. 集合・あいさつ めあての確認		掲示用ボード
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> めあて 工夫した動き方を取り入れた作戦を立て、ゲームで生かそう。 </div>		
2. コートの準備	<ul style="list-style-type: none"> ・安全にすばやく準備ができるように声かけをする。 	得点板、コーン、ストップウォッチ、ピブス、タグ、CDデッキ、CD、ラインカー
3. 準備運動 ・準備体操 ・三角ランニングパス	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール保持者から離れないことといつでもボールをキャッチする準備をしておくよう伝える。 	ボール
4. 主運動につながる運動 ・円陣パス ・1対1トライ対決	<ul style="list-style-type: none"> ・両手を使って相手の取りやすいボールを投げるように声かけをする。 ・工夫した動きを取り入れ相手をかかわすように声かけをする。 	ストップウォッチ、ボール
5. 主運動 ・作戦タイム ・グループ対抗ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・攻めと守りの両方で作戦を立てるよう伝える。(思②) ・ルールを守り、友だちと協力して、ゲームするよう伝える。(関②) 	作戦ボード、作戦カード
6. 片づけ・整理運動	<ul style="list-style-type: none"> ・協力して安全にすばやく片づけが出来るように声かけをする。 	
7. 学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・次時への意欲を高めるように活動をふりかえさせる。 	学習カード

〔ご指導欄〕

□ 班のメンバー (○はキャプテン)

レインボー 7	王小ドラゴンズ	ザ・ムイムイ	逆転チーム	元気チーム	ブラックタイガーズ
○	○	○	○	○	○

□ コートの大きさ



□ タグラグビーのルール

《 はじめに決めておいたもの 》

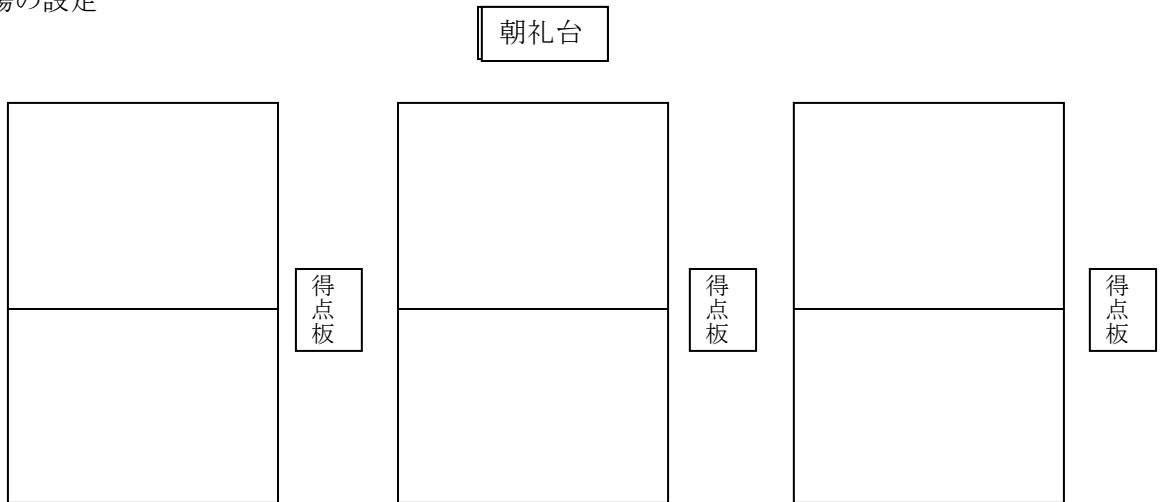
- ・ボールを前に投げてはいけない。(スローフォワード)
- ・タグを取られたら、すぐに止まってパスをする。
- ・相手にさわったり、ぶつかったりしてはいけない。
- ・ボールをキックしてはいけない。
- ・タグを取ったら大きな声で「タグ」と言う。

《 子どもたちと決めたルール 》

- ・タグを取られたら3歩以内に止まる。
- ・タグを取られたら5秒以内にパスをする。
- ・ボールを持っている敵より前へ行ってはいけない。
- ・自分たちで審判をする。(セルフジャッジ)

○学習の工夫について

①場の設定



運動場に横15メートル縦30メートルのコートを3面作る。準備がスムーズに行えるように運動場にポイントを打ち、それを目印にして児童が白線を引けるようにした。朝礼台には移動式の黒板を置き、ルール、本時のめあて、授業の流れ、対戦相手、トーナメント表を提示した。ビブスとタグも朝礼台の上に用意し、各班ごとに取りに来て、準備を行えるようにした。



②準備運動及び主運動につながる動きについて

- ・ 三角ランニングパス

それぞれのコートの中で、3人ひと組になりコートから出ないように走りながらパスをする。三角形になり先頭を走る児童がボールを持ち、後ろの児童が「タグ」と声をかけると左後ろか右後ろのどちらかの児童へすぐにパスを出す。

- ・ 円陣パス

グループで円を作り、一定方向へパスを回していく。30秒で何回パスが回せるか数える。両手でパス、両手で取る指導を行う。

- ・ 1対1トライ対決

2つのグループで行う。一方のグループの1人がボールを持ってトライをしようと攻める。もう一方の児童1人がトライを阻止するために相手のタグを取る。トライをするかタグを取ったら、交代する。



③主運動について

・グループ対抗ゲーム

グループでリーグ戦を行う。前半と後半に分けてゲームを行う。試合前とハーフタイムには作戦タイムを設け、作戦カードやホワイトボードを使って作戦を決める。



○成果

タグラグビーは児童たちにとって初めて行うスポーツであった。ボールは楕円形で扱いにくく、前へボールを投げてはいけないというルールに、はじめは戸惑いが見られた。しかし、ドリルゲームを毎時間行うことで、ボールやタグの扱いに慣れてきた。またわかりやすいルールですぐにゲームを始めたことで、ゲームを楽しむ姿が見られた。

ゲームではパスよりも走ることを重視することにより、運動量の確保ができた。特に運動に苦手意識を持っている児童がトライをして得点を入れる喜びを味わい、積極的に参加することができた。

なかまとの関わりという点では、ゲームになると「勝つ」ことだけに執着して、グループ間やグループ内でのめごとが多かった。そのため、作戦タイムや学級活動の時間を利用して話し合いを行った。そこで新しくルールを考え、付け加えることを繰り返すことにより、自分たちで決めたルールをセルフジャッジしながらスムーズにゲームを進めることができるようになった。また、グループで準備・ライン引き・片付けなどでも声を掛け合い協力して行うことができた。

○課題

まだ体育科であまり行われていない新しいスポーツなので、他学年でも導入していけるように、教材・教具を引き継いでいく必要がある。また今回は4年生で取り組んだが、どの学年でも行うことができるので、低・中・高学年の2年間を見越して継続して取り組んでいければと思う。低学年ではタグを使った鬼ごっこや陣取りなどの遊び、中学年では簡単なルールでのゲーム、高学年ではゲーム性を重視した取り組みへとつなげていくことができればよいと考える。

タグラグビー 進め方略案

【 1時間目 】

○ オリエンテーション

- ・ラグビーの試合の映像を見る。→ 感想を聞く。
- ・体育についてのアンケートをとる。
- ・タグラグビーの映像を見る。→ 感想を聞く。
- ・チーム発表。
- ・タグの色・ビブスの色の発表。(タグの色とビブスの色がかぶらないようにする。)

○ タグラグビーのルール説明

黒板にコートを書き、マグネットなどを動かしながら説明する。

- ・ボールは楕円形のボールを使用。(イメージできないので実物を見せる。)
- ・タグをつけて行う。
- ・4人対4人でゲームを行う。
- ・ゴールラインを越えると「トライ」で一点が入る。
- ・ボールを持って何歩でも動くことができる。
- ・ボールを前に投げることはできない。
- ・タグをとられるとすぐに止まってパスを出さなければならない。
- ・タグをとったときは、大きな声で「タグ」という。
- ・相手にさわったり、ぶつかったり、手を広げて守ったりしてはいけない。

○ ルールに関する質問タイム

基本的なルールだけを決め、細かなルールについては試合をしていく中でみんな決めていくことにする。

タグラグビー 進め方略案

【 2時間目 】

はじめにビブスとタグをつけておく。

○ゲームの準備

・マーカーコーン、得点板、作戦ボード、ストップウォッチの準備

○めあての確認

「ボールを持ったらタグを取られるまで走ろう」

○準備運動

・金魚ランニング ・準備体操

○主運動につながる運動

・円陣パス ・1対1タグとり ・ボール集め競争

○練習試合

	Aコート	Bコート	Cコート
組み合わせ	1班 対 2班	3班 対 4班	5班 対 6班

- ・1試合前半6分 後半6分 2分ごとにメンバー2人を交代する
- ・ゲームに参加していないメンバー 1人は得点 もう一人はラインズマンと計時
- ・審判なしのセルフジャッジ
- ・試合前と前半と後半の間の3分間を作戦タイムとする

○片づけ・整理体操

○学習のまとめ

めあてが達成できたかの確認、学習カードの記入

タグラグビー 進め方略案

【 3時間目 】

はじめにビブスとタグをつけておく。

○ゲームの準備

・マーカーコーン、得点板、作戦ボード、ストップウォッチの準備

○めあての確認

「パスをしたら、ボールを持っている人の後ろへ回ろう」

○準備運動

・金魚ランニング ・準備体操

○主運動につながる運動

・円陣パス ・ボール集め競争

○リーグ戦①

	Aコート	Bコート	Cコート
組み合わせ	1班 対 2班	3班 対 4班	5班 対 6班

- ・1試合前半6分 後半6分 2分ごとにメンバー2人を交代する
- ・ゲームに参加していないメンバー 1人は得点 もう一人はラインズマンと計時
- ・審判なしのセルフジャッジ
- ・試合前と前半と後半の間の3分間を作戦タイムとする

○片づけ・整理体操

○学習のまとめ

めあてが達成できたかの確認、学習カードの記入

タグラグビー 進め方略案

【 4時間目 】

はじめにビブスとタグをつけておく。

○ゲームの準備

・マーカーコーン、得点板、作戦ボード、ストップウォッチの準備

○めあての確認

「ルールを考えよう」

○準備運動

・金魚ランニング ・準備体操

○主運動につながる運動

・円陣パス ・ボール集め競争

○リーグ戦②

	Aコート	Bコート	Cコート
組み合わせ	1班 対 3班	2班 対 5班	4班 対 6班

- ・1試合前半6分 後半6分 2分ごとにメンバー2人を交代する
- ・ゲームに参加していないメンバー 1人は得点 もう一人はラインズマンと計時
- ・審判なしのセルフジャッジ
- ・試合前と前半と後半の間の3分間を作戦タイムとする

○片づけ・整理体操

○学習のまとめ

めあてが達成できたかの確認、学習カードの記入

タグラグビー 進め方略案

【 5時間目 】

はじめにビブスとタグをつけておく。

○ゲームの準備

・マーカーコーン、得点板、作戦ボード、ストップウォッチの準備

○めあての確認

「工夫した動き方を考えよう」

○準備運動

・三角ランニングパス ・準備体操

○主運動につながる運動

・円陣パス ・1対1トライ対決

○リーグ戦③

	Aコート	Bコート	Cコート
組み合わせ	1班 対 4班	2班 対 6班	3班 対 5班

- ・1試合前半6分 後半6分 2分ごとにメンバー2人を交代する
- ・ゲームに参加していないメンバー 1人は得点 もう一人はラインズマンと計時
- ・審判なしのセルフジャッジ
- ・試合前と前半と後半の間の3分間を作戦タイムとする

○片づけ・整理体操

○学習のまとめ

めあてが達成できたかの確認、学習カードの記入

タグラグビー 進め方略案

【 6時間目 】

はじめにビブスとタグをつけておく。

○ゲームの準備

・マーカーコーン、得点板、作戦ボード、ストップウォッチの準備

○めあての確認

「工夫した動き方を加えて攻めたり守ったりしよう」

○準備運動

・三角ランニングパス ・準備体操

○主運動につながる運動

・円陣パス ・1対1トライ対決

○リーグ戦④

	Aコート	Bコート	Cコート
組み合わせ	1班 対 5班	2班 対 4班	3班 対 6班

- ・1試合前半6分 後半6分 2分ごとにメンバー2人を交代する
- ・ゲームに参加していないメンバー 1人は得点 もう一人はラインズマンと計時
- ・審判なしのセルフジャッジ
- ・試合前と前半と後半の間の3分間を作戦タイムとする

○片づけ・整理体操

○学習のまとめ

めあてが達成できたかの確認、学習カードの記入

タグラグビー 進め方略案

【 7時間目 】

はじめにビブスとタグをつけておく。

○ゲームの準備

・マーカーコーン、得点板、作戦ボード、ストップウォッチの準備

○めあての確認

「チームで攻め方守り方を考えよう」

○準備運動

・三角ランニングパス ・準備体操

○主運動につながる運動

・円陣パス ・1対1トライ対決

○リーグ戦⑤

	Aコート	Bコート	Cコート
組み合わせ	1班 対 6班	2班 対 3班	4班 対 5班

- ・1試合前半6分 後半6分 2分ごとにメンバー2人を交代する
- ・ゲームに参加していないメンバー 1人は得点 もう一人はラインズマンと計時
- ・審判なしのセルフジャッジ
- ・試合前と前半と後半の間の3分間を作戦タイムとする

○片づけ・整理体操

○学習のまとめ

めあてが達成できたかの確認、学習カードの記入

タグラグビー 進め方略案

【 8時間目 】

はじめにビブスとタグをつけておく。

○めあての確認

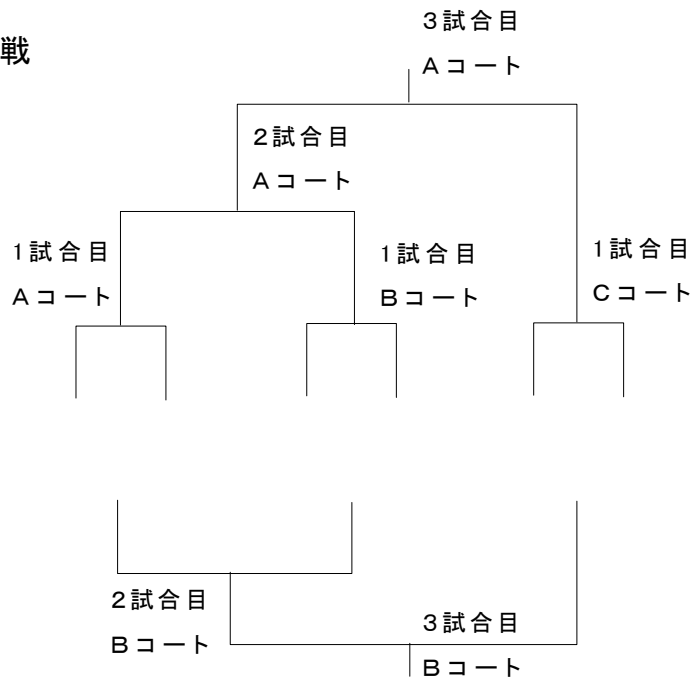
「タグラグビー大会をしよう」

○各チームウォーミングアップと作戦会議

○ゲームの準備

・マーカーコーン、得点板、作戦ボード、ストップウォッチの準備

○トーナメント戦



- ・1試合9分 3分ごとにメンバー2人を交代する 。
- ・審判なしのセルフジャッジ
- ・ゲームに参加していないメンバー 1人は得点 もう一人はラインズマンと計時

○片づけ・整理体操

○学習のまとめ

めあてが達成できたかの確認、学習カードの記入